

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点		
国語		国語表現		4	「現代の国語」「言語文化」を履修したのちに履修		
指導目標	1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
	教科書			副教材等		添削指導	面接指導
	国語表現（東京書籍）					12回	4単位時間
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐	実施している		多様なメディアを利用した学習による 減免後の面接指導時間数	該当なし
		☒	実施していない				
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	「分かりやすい説明」をするための、情報の整理・伝達の基礎を理解する。 ○確認すべき事柄を整理し、決定する。 ○より分かりやすくするためのツールやモードを選択できるようにする。 ○TPOに応じたモードを選択し、言葉選びや言葉遣いを切り替えられるようにする。 ○情報の取捨選択にはどのような事柄が影響を与えるかを理解する。 ○情報の整理方法について、どのような作業が必要かを理解する。					1	5月13日
2	「分かりやすい説明」をするための、情報の整理・伝達の基礎を理解する。 ○基本となる順序を理解し、選択する。 ○「説明の地図」の役割を理解する。 ○「接続の言葉」のパターンを習得し、小論文などに活用できるようにする。 ○具体的に見やすくする工夫を、分類して把握する。 ○実際に見やすくする工夫の参考例を通して、その効果を実感する。					1	5月13日
3	身体が表現することを意識するトレーニングについて理解する。 ○トレーニングの流れを理解し、振り返りから活用する。 ○発声と口調、身振り・表情が与える情報を理解する。 ○効果的なスピーチや面接、プレゼンテーションを考える。 ○自分ではない人格を演じることで、新しい表現方法を身に付ける。 ○身体表現のスキルをどのような場面で生かすことができるかを考える。					1	6月6日
4	インタビューの手法を使って、「質問力」を養う。 ○インタビューの目的とテーマを明確にする。 ○インタビューの依頼・準備を行う。 ○インタビューの依頼に伴う、実務的な連絡の基礎知識を身につける。 ○フォーマルな「電話のかけ方」「メールの書き方」「手紙の書き方」を理解する。 ○インタビュー依頼時のマナーを把握する。					2	6月6日
5	インタビューをシミュレーションし、「質問力」を磨く。 ○目的に合わせた質問を考える。 ○適切な種類の質問をするために、分類する。 ○用意した質問にこだわらず、臨機応変な対応ができるように考える。 ○インタビューの流れと、その時々適切な質問を理解する。 ○インタビュー記事のまとめ方とタイプを把握する。					2	7月4日

6	面接・自己PRのための「自己分析」について理解を深める。 ○「ジョハリの窓」を参考に、自己分析を試みる。 ○「リフレーミング」によって視点を変えることを知る。 ○就職先や進学先など具体的な「相手」を想定し、手段や方法を学ぶ。 ○履歴書の注意点を把握する。 ○簡単な自己分析と成果について文章化する。	2	8月8日	
7	テーマ型小論文を書くためのポイントについて理解を深める。 ○小論文の概要を把握する。○四つに分類した小論文のタイプと特徴を理解する。 ○ステップごとの概要を知る。 ○「根拠（エビデンス）」の種類と活用法を理解する。 ○文章の修正方法とその種類を学び、実践する。 ○テーマ選びと問題提起を文章化する。	3	10月21日	
8	小論文のタイプに合わせた手順について理解を深める。 ○課題文の「読み方」を理解する。○「論点」を決め、「具体例」の出し方を把握する。 ○データの読み取り（分析）方法を学ぶ。○分析に対するの考察＝推測する方法を学ぶ。 ○志望先に合わせた自己PRを学ぶ。 ○小論文に関連する用語を理解する。 ○課題文を読み、設問に対する解答を文章化する。	3	10月21日	
9	「ファシリテーション」について理解を深める。 ○「ファシリテーション」の定義を理解し、機能を把握する。 ○「話し合い」の目的とゴール・イメージについて考える。 ○意見を出し合うことの価値を学ぶ。○「論点」の必要性和次の行動を確認する ○目的に合わせた「話し合い」の手順と特徴を学ぶ。 ○実体験に基づいた「話し合い」の不成功と「ファシリテーター」の視点を文章化する。	3	11月11日	
10	「広報資料」を作成することについて理解を深める。 ○「広報」の意義を理解する。○情報の発信方法を把握する。 ○作成手順の流れを把握し、ポイントを掴む。 ○情報の取扱方法を理解する。 ○「6W2H」を理解し、これを活用し情報を整理する方法を知る。 ○「広報資料」について、設問に対する解答を文章化する。	4	11月11日	
11	「プレゼンテーション」について理解を深める。 ○「プレゼンテーション」のポイントを理解する。 ○説得力のある表現方法を身につける。○提案に説得力を持たせるポイントを掴む。 ○「プレゼンテーション」における演劇的要素を理解する。 ○「フィードバック」によるパフォーマンスの向上を目指す。 ○「身近な問題点」とその改善案について文章化する。	4	12月5日	
12	「創作」について理解を深める。 ○「創作」のポイントを理解する。○俳句の音の数え方を覚える。 「俳句の季語」を学ぶ。 ○「季語」とは何かを理解する。○なぜその季節に分類されているのかを考える。 「エッセー」を学ぶ。 ○「エッセーを書く手順」を把握し、その表現方法を実践する。	4	1月20日	
面接指導(スクーリング)				
回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		「分かりやすく説明しよう 情報の整理・伝達」「身体で表現しよう」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	6月
2		「『問い』を考えよう インタビュー」 「『自分』を表現しよう 面接・自己PR」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	8月

3	「論理的な文章を書こう 小論文」 「話し合う力をつけよう ファシリテーション」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	11月
4	「情報活用力を身につけよう 広報資料」 「説得力のある提案をしよう プレゼンテーション」 「表現を楽しもう 創作」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	1月
多様なメディアを利用した学習			
計画段階では実施予定なし			
試験			
回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	レポート1～6	各学習センター	9月
2	レポート7～12	各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。			
その他			
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。			